

Garrard 401 の再構成(20)
—フォノステージの試聴(2)—

1. はじめに

前報(19)の結果を受けてカートリッジを替えてみます。併せて、スピーカーアキュライザーの効果も確認します。

2. Garrard 401 の再構成の試聴方法

前報(19)では、フォノステージを Leak Pont1 とした場合、ゲインが小さいので、カートリッジが Ortofon Royal N では、音圧の確保に苦しいところがありました。そこで、今回、カートリッジを ZYX R100EX に替えてみます。

Garad401(ZYX R100EX)→My Sonic STAGE 1030→Leak Pont1→TruPhase
試聴音源は下記を使用します。

LONDON SLC 1138

ファリヤ 三角帽子

アンセルメ指揮スイスロマンド

ARCHIV(日本ポリドール) 28MA 0020

J.S.Bach チェンバロ協奏曲

トレヴァー・ピノック指揮イングリッシュユコンサート

harmonia mundi(Deutche) KUX-3248-H

ミトマニア

ベーレン・ゲスリン

キングレコード SKA-104

愛と自然の歌

倍賞千恵子

3. Garrard 401 の再構成の試聴結果

カートリッジを ZYX R100EX に替え、STAGE 1030 経由の Leak Pont1 のフォノステージでは、TruPhase のヴォリュームをいっぱいにしなくても音圧を稼げます。

ファリヤの三角帽子は、この曲の特徴である、音の立ち上がりも十分ですし、ベルガンサとオーケストラの位置関係も把握できます。

バッハのチェンバロ協奏曲は、中庸を得た落ち着いた音です。

ミトマニアは、温かみのある声のボーカルで、そのニュアンスは十分に出ていま

す。

倍賞千恵子は、ボーカルのニュアンスは十分に出ていますし、バックの楽器の質感も十分です。

なお、Leak Pont1 はトーンコントロールがありますので、一定程度、盤毎のバランスの調整が可能です。また、Garad401 のレコードスタビライザーは、以前からオーディオテクニカの重量級の AT-618 を使用してきましたので、試みにターンテーブルアキュライザーTACU-1 に替えてみたところ、上記より細かいニュアンスの表現が向上しました。これらの件については別途検討していきます。

以上から、カートリッジを替えた Garad401 からの再生でも、スピーカーアキュライザーの効果を確認することができました。

なお、前報(19)の結果と併せ考えますと、Ortofon Royal N は 47 研 4718 と組み合わせ、ZYX R100EX は LeakPoint1 と組み合わせることが良さそうです。ゲインの関係もありますが、ソフトな音質の Ortofon Royal N では切れの良い 47 研 4718 が、ややメリハリのある ZYX R100EX では真空管プリの LeakPoint1 のまったりとしたところなど、音質面でのマッチングもあります。

4. まとめ

Leak Pont1 のフォノステージでカートリッジを ZYX R100EX に替えるとゲイン不足の問題は解消し、Garad401 からの再生でも、スピーカーアキュライザーの効果を確認することができました。

以上